BONDED DRONE SPEC

PARROT ANFI

100Mbps の 4KHDR ビデオ、

4K シネマ解像度、17:9のプロ品質のビデオ、

HDRモード、暗い場所や露出過度の場所での完璧な画像レンダリング、 広角非球面レンズを搭載したカメラで、ノイズや色収差を低減し、

最も技術的に進んだ飛行カメラ: 21MP 1/2.4"Sony®CMOS センサー

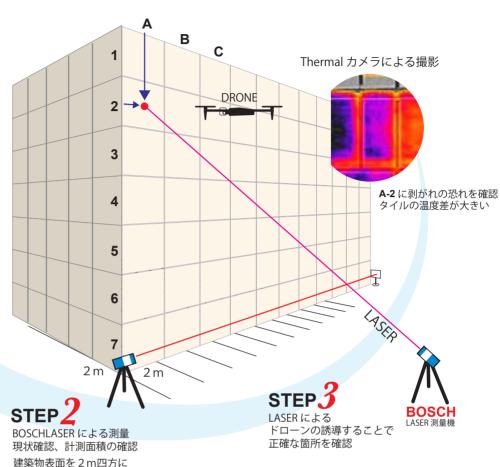
ASPH 広角レンズ f / 2.4

35mm 換算焦点距離: 23-69mm (写真)、26-78mm (ビデオ)

Adobe DNG / RAW 形式







PARROT ANFI THERMAL の特徴

Fusion 4K + サーマル

熱画像と可視画像の解像度のバランスを取り、熱では見えない情報の恩恵を受けるために、表示される画像は 2 台のカメラからの情報の融合です。

検査ブロックとして分割

ANAFI Thermal の光学ユニットは、3 軸で安定化されており、赤外線センサーと電気光学を組み合わせて、-10°~+400°の温度を識別できるようにします。FLIR Lepton 3.5 モジュールのおかげで、各ピクセルの絶対温度を設定することができます。

カラー化

ミッションを簡素化し、ターゲットに焦点を合わせて精度を高めるために、温度範囲を定義して、対象の対象を分離することができます (例:水漏れ、熱漏れなど)。

ミッション後の要素の検索を絞り込むために、ビデオのカラーパレットを、ダウンロードせずにフライトアプリから 再編集できます。

放射測定

FLIR Lepton 3.5 放射測定センサーのおかげで、観測されたシーンの最高温度と最低温度を決定できます。正確な温度を見つけるために画面上で特定のポイントを選択できるため、正確で詳細なデータを取得できます。

アシストフライング

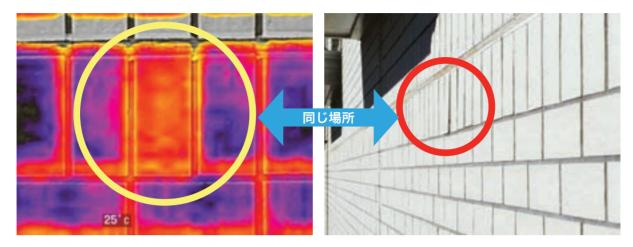
FreeFlight 6 アプリから、さまざまな制御モードを構成できます。FlightPlan モードもあり、地図から飛行計画を定義したり、特定のスポットやカメラの向きを定義したりできます。アプリは、ミッションを実行するために必要な時間を自動的に計算します。

カメラの向きを 90°上に向けることができるため、構造物の下側を検査したり、シーンの 360°パノラマ写真を撮影したりできます。



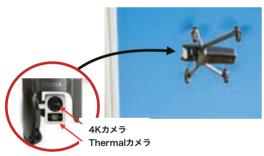


目視で浮きを確認した場所の温度を測る

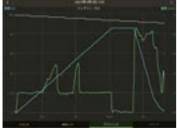


浮きのある部分は3℃~4℃高温になりthermal計で色の違いを確認

●使用機材 PARROT ANAFI THERMAL









パイロットは操縦に集中し、オペレータがタブレット端末に送られて

●検査方法(事前調査) 建物三面図もしくは、GPS画像から 検査対象面積を検出 1区画毎にナンバリングする



- ●検査方法(当日調査) 区画毎に最低温度を検出し、 温度差を調査
- ●人員(3名)ドローンパイロットPC記録・タイムキーパー周辺安全確保員
- ●国土交通省登録済 ドローン情報基盤システム (DIPS) 申請者ID: 20025083

